

## 「TWILIGHT EXPRESS 瑞風」の取り組み

### 1. 目的

JR西日本では、2013年3月に発表した「JR西日本グループ中期経営計画2017」において、「地域共生企業」となることを掲げている。これは、地域の皆様との交流と連携を深めて、JR西日本グループ全体でエリアに即した事業を展開し、地域の活性化に貢献することを目指すものである。

一方でその頃、1989年に大阪・札幌間で運行開始し多くのお客様にご好評いただくとともに、当社の社員にとってもフラッグシップ列車であった「トワイライトエクスプレス」については、車両の老朽化により今後の存続が困難な状況にあった。

そこで当社は、「トワイライトエクスプレス」の後継列車として新たな寝台列車を導入し、鉄道の強みを活かし、地域と一体となった観光振興の推進を図る取り組みを展開することを決定した。

### 2. 提供価値

「トワイライトエクスプレス」は、「上質な快適な車両」「食事」「車窓」といった移動以外の価値を提供し、運行終了までの26年間で110万人ものお客様にご乗車いただいた。



写真1 瑞風の外観

新たな寝台列車においても、こうした鉄道の旅の魅力を更にグレードアップしてご提供するとともに、新たな価値も付加していく。それは、沿線の魅力の提供である。

旅行の途中に沿線に立ち寄ることができることも、鉄道の旅の魅力の1つであるが、西日本エリアには、歴史・文化が豊かな地域や、日本の原風景とも言える美しい自然が数多く残っている。これらに触れていただくことで、お客様に美しい日本の素晴らしさを再認識していただきたいと考えている。

列車名「TWILIGHT EXPRESS 瑞風」には、トワイライトエクスプレスの伝統を受け継ぐとともに、美しい瑞穂の国を風のように駆け抜け、日本の素晴らしさを感じていただきたいという想いが込められている。

### 3. 車両

「TWILIGHT EXPRESS 瑞風(以下、「瑞風」という。)」では、列車コンセプトを「美しい日本をホテルが走る～上質さの中に懐かしさを～」とし、非日常的で洗練されたホテルのような空間にどことなく懐かしさが感じられるデザインを配した車内で流れゆく車窓



西日本旅客鉄道株式会社  
鉄道本部 営業本部  
瑞風推進事業部 課長

くらしげ まさひこ  
倉重 雅彦



写真2 「ザ・スイート」の客室内レイアウト

を眺めながら、改めて美しい日本の素晴らしさと鉄道の旅の魅力を感じていただくことができる列車を提供したいと考えている。

車両のデザインコンセプトは、洗練された上質さと心休まる懐かしさを感じられる「ノスタルジック・モダン」とした。

エクステリア(写真1)は、トワイライトエクスプレスの伝統を受け継ぎつつ、さらに上質さを演出した「瑞風グリーン」の車体に金色のエンブレムとラインを配している。また展望デッキと5本のラインからなる流線形の先頭車には、丸目のヘッドライトや往年のボンネット型を彷彿させる運転室を配置し、懐かしさを演出している。

インテリアは、昭和初期に一世を風靡したアールデコ調をベースに、沿線の魅力をちりばめた車内で、大きな窓を流れる美しい景色をお楽しみいただける。また開閉できる窓や展望デッキから沿線の風も感じていただけるように工夫した。

10両編成の車両には客室が16室あり、定員が最大34名である。客室内には中国5県の県産材を使ったドアや、沿線の伝統工芸品をあしらっている。そのうち、1両に1室しかない最上級の客室「ザ・スイート」(写真2)には、リビングや寝室のほか、バスタブ付きの本格的なバスルームやプライベートバルコニーを設けた世界中でも希少な客室としている。

また、1両に3室ある「ロイヤルツイン(写真3)」や「ロイヤルシングル(写真4)」では、ドア開放時には列車の左右両側が眺望できる

ようになっている。さらに「ロイヤルツイン」では収納式ベッドを採用することで、昼間のリビングスペースを確保している。なお、一部の客室は、ユニバーサル対応としている。

食堂車(写真5)は、フォーマルな雰囲気としつつも心地よい空間で、オープンキッチンから伝わる車内調理のライブ感とともに、大きな窓から流れる美しい車窓を眺めながら、食の匠による料理をお楽しみいただくことができるようにした。

ラウンジカー(写真6)には、バーカウンターや立礼の茶の卓、ブティックスペースを備えており、木を多用した落ち着いた空間で、お



写真3 「ロイヤルツイン」の室内



写真4 「ロイヤルシングル」の室内



写真5 食堂車



写真6 ラウンジカー



写真7 展望車

お客様同士の会話やおもてなしをお楽しみいただく。

そして展望車(写真7)では、空まで望むことができる開放的な展望室から雄大な車窓をお楽しみいただくとともに最後部の展望デッキでは沿線の風を感じていただく。

これら車両のインテリアを中心とした全体デザインは、京都迎賓館をはじめ、ホテルや各種迎賓施設にも携わり、空間デザインに造詣が深い浦一也氏が、車両のエクステリアデ

ザインについては、寝台列車やN700系新幹線をはじめ数多くの鉄道車両のデザインを手掛けている福田哲夫氏が手掛けた。

なお、動力方式は、ハイブリッド方式(ディーゼル発電機にて発電した電力とバッテリーアシストによるモータ駆動)としている。

#### 4. 食事

トワイライトエクスプレスでは車内で調理した料理が多くのお客様にご好評いただいた。

「瑞風」では食の権威として数多くのメディアで活躍する門上武司<sup>かどかみたけし</sup>氏のプロデュースのもと、トワイライトエクスプレスの車内調理の伝統を引き継ぎつつ、一流の食の匠にメニューを監修いただく。

まず、ユネスコ無形文化遺産に登録された和食の普及に国内外で尽力されている「菊乃井」の村田吉弘氏と、妥協のない姿勢で料理を通して壮大な世界観を表現される「HAJIME」の米田肇氏に、瑞風の朝食と夕食を監修いただいている。また、この他にも、山陽・山陰エリアで活躍されている食の匠として「ル・ジャルダングルマン」小山賢一氏、「あなごめしうえの」上野純一氏、「ル・レストラン・ハラ」原和博氏、「ボンヌママン・ノブ」上田幸治氏には昼食を、「エスコヤマ」小山進氏にはアフタヌーンティーのスイーツを監修いただいた。

大きな窓を流れる美しい車窓を眺めながら、オープンキッチンから伝わる車内調理のライブ感とともに沿線の多彩な食材を贅沢に盛り込んだ食の匠によるこだわりの料理を堪能いただきたい。

さらに、2泊3日の周遊コースの3日目の昼食は、山陰本線東浜駅前に広がる日本の原風景とも言うべき、美しい浦富海岸(世界ジオパーク認定)の眺望をお楽しみいただけるレストラン「AL MARE(アルマーレ)」をご利用

いただく。雄大で美しい海を望むテラス、高い天井の広々としたダイニングスペース、アプローチに沿って整備された庭園、そして厨房の一部には石窯が設置されており、地元の新鮮な素材を活かした料理をご堪能いただく。

なお、このレストランは鳥取県岩美町が所有する旧保育所施設を改装したもので、建物のデザインは浦一也氏が監修している。

## 5. 車窓

「瑞風」を運行する山陽・山陰エリアでは、瀬戸内の多島美や雄大な日本海、<sup>ほうき富士</sup>伯耆富士と称される大山等の多くの美しい自然が沿線に広がっている。

「瑞風」が山陽本線や山陰本線を運行する際、選りすぐりのいくつかの地点において徐行するとともに、一部のコースにおいては早朝時間帯に呉線や伯備線もあわせて運行し、客室や展望車でくつろぎながら、あるいは食堂車で食事を召し上がりながら、お客様にこれらの車窓を堪能していただきたいと考えている。

## 6. 沿線の魅力の提供

山陽・山陰エリアには、世界遺産に登録されている景勝地や、国立公園や世界ジオパークに認定されている自然等、国内外で評価されている観光地が数多く存在する。さらには、当社はこれまで各地域の皆様とデスティネーションキャンペーン等をはじめとする様々な観光キャンペーンを通じて、より魅力的な観光開発に取り組んできた。

「瑞風」においては、これまでの取り組みの関係を活かして、国内外で評価される観光地に加え、知る人ぞ知る日本の原風景をご探訪いただくとともに、非公開箇所の見学などの特別な体験を組み込んだ立寄り観光をご提供する。

「瑞風」の旅では、1泊2日の片道コース(4

コース)と2泊3日の周遊コースの計5コースをご用意し、1日1回、沿線の途中駅に立寄り、伝統工芸品や食材に加えて、沿線の歴史・文化や美しい風景をお楽しみいただく。なお、途中駅から立寄り観光地でご利用いただく専用バスとして「瑞風バス」を運行する。デザインは浦一也氏が監修し、運行は中国ジェイアールバス(株)が行う。

## 7. サービス

「瑞風」では、上質で洗練されたサービスやおもてなしを通じてお客様にご満足いただけるように、「旅行前から旅行後まで」トータルにコーディネートしたサービスを提供する。そのため当社では、日本旅行と連携して「TWILIGHT EXPRESS 瑞風 ツアーデスク」を立ち上げ、「瑞風」のお問い合わせや、旅行前におけるお客様の様々なご要望に応じている。

出発地となる京都駅・大阪駅では「瑞風ラウンジ(写真8、9)」を設置、下関駅ではホーム上にモニュメントやベンチ等(写真10)を

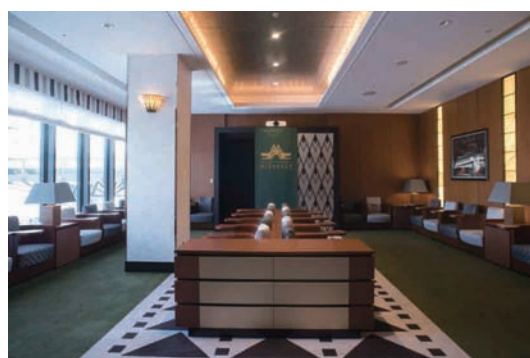


写真8 瑞風ラウンジ京都



写真9 瑞風ラウンジ大阪



写真10 下関駅ホーム

新設した。そして出発当日は、いずれの駅においてもクルーがおお客様の到着をお待ちし、出発前のチェックインを行い、お荷物のお預かりをし、出発時間まではドリンクやスイーツの提供などを行う。

これらの、列車コンセプト「美しい日本をホテルが走る」にふさわしいサービスを提供するため、(株)帝国ホテルよりクルーのサービス教育などを担当する専属のサービス担当部長が就任した。クルーは担当内容に応じて、帝国ホテル東京での研修や、食を監修いただく料理人のもとで研修を行った。

このほか、クルーが着用する制服デザインは、日本を代表するデザイナーのおひとりである稲葉賀恵いなばよしえ氏に依頼し、制服としての機能性に加え、お客様にも親しみやすくエレガントな「瑞風」のおもてなしを感じていただけるデザインに仕上がった。

ご紹介したサービスに加えて、「瑞風」のアンバサダーとしては、世界的に活躍するヴァイオリニスト・ミュージシャンの葉加瀬太郎氏に就任いただき、「瑞風」のコンセプトを体現する楽曲「MIZUKAZE」を制作いただくとともに、「瑞風」が運行する山陽・山陰エリアの魅力を発信いただく。

## 8. お申込み状況

2016年12月5日～2017年1月31日までの期間、第1期(2017年6～9月出発分)のお申込み受付を行い、全ての出発日、コー

スにおいて抽選となった。また、2017年4月1日～2017年5月31日まで第2期(2017年10月～11月出発分)のお申込み受付を行い、こちらも全ての出発日、コースにおいて抽選となった。第3期(2017年12月～2018年2月出発分)の受付については、7月末まで行っている。

### 【第1期のお申込み状況】

応募件数	2,022件
平均倍率	5.5倍
最高倍率	68倍 6月21日出発 山陽・山陰コース (周遊)2泊3日 ※・スイートのお部屋

### 【第2期のお申込み状況】

応募件数	2,479件
平均倍率	17.2倍
最高倍率	123倍 10月25日出発 山陽・山陰コース (周遊)2泊3日 ※・スイートのお部屋

ツアーデスクのオープン以降、多くのお客様にお問い合わせやお申し込みをいただいている。海外のお客様からもお問い合わせが寄せられその期待の高さを感じており、今後もより多くのお客様に「瑞風」を知っていただくための販売促進を行っていく。

## 9. 「瑞風」出発

2017年6月17日(土)、「瑞風」の山陰下りコース(1泊2日)の1番列車が出発し、終着駅である下関駅に向かった。大阪駅・京都駅の出発式では、葉加瀬太郎氏作曲のテーマ曲「MIZUKAZE」と汽笛と共に、多くの方に見送られながら記念すべき初列車が出発した。

当社では、「瑞風」の運行開始を契機とし、西日本エリアの魅力を発信を継続し、「瑞風」を、お客様はもとより地域の皆様やJR西日本グループ社員といった多くの皆様に、愛され輝き続けることができる列車としていく所存である。